



隣人のゆくえ

私たちの嘘を、暴かないで下さい。
—あの夏の歌声—



あいうえお このくにのことは そのふたことから はじまるのです あい

隣人のゆくえ受賞

第8回
日本芸術センター
映像グランプリ
感動賞

第26回
TAMA CINEMA FORUM
TAMA NEW WAVE
コンペティション
ノミネート

第3回
新人監督映画祭
長編部門準グランプリ

第9回
ラブストーリー映画祭
観客賞

門真映画祭 2020
門真市長賞、優秀作品賞、
優秀助演女優賞（福田麗）

第1回
アイドル映画祭
優秀監督賞、グランプリ

RO JACK 入賞
（レイミ（正司怜美）
はじまりのふたこと）

映画ランキング専門サイト 邦画の戦争映画ランキング第3位

40名の中高生が世界中に問いかける感動のミュージカルの幕が上がる

出演：正司怜美／福田 麗／江藤心愛／平島咲良／吉田 玲／岡本ゆうか

監督・脚本：柴口 勲 制作地：山口県下関市



梅光学院中学校・高等学校



奇蹟の映画と出逢った。

はるる

(映画作家・大林宣彦)

Story

両親の別れた日、カンナは忘れ物を取りに学校へ戻る。校内の歌声に誘われて着いたのはミュージカル部だった。「夏休みの間私たちのたった一人の観客になって」と頼まれた彼女は、迷いつつも部室へと通い始めるのだが――

奇蹟のような映画、観せて戴きました。まるで映画が今、この世に誕生したみたいです。映画の初心。穢れなく、こよなく純真。少女らの一瞬一瞬に時が止まり、また流れ、映画独自の私的な時間を刻んでゆく。いい思いが残像していく。かけがえのない、とりかえしのつかぬ……その少女の時間は、かりそめの生、はかない生の存在を予感させ、そして、——淡々と語るが故に怖さがつのる、戦争の記憶!。——生きて、生きて!。私的な思いが一気に普遍となる。これが劇!。

少女らの実年齢に驚きました。正に無垢なり。一所懸命に唄を学び、舞踏を練修し、伝える事に励んだ。生きるとは、一所懸命なり! それが命の尊さを伝える。失ってはならぬ人の心を語り継ぐ。彼女らの創意と努力と、一瞬をおもろそかにせぬ一所懸命に拍手を! 彼女らの表現力を以って、この映画は映画たり得た。しかも、奇蹟の映画に。

この素晴らしい少女らと共に時を送り、このような映画を生み出された柴口勲監督の映画愛と力量には感服致した。信じる力があるからこそです。映画を信じ、この世に穏やかなる日々の創造(得ることを信じ、そして目の前にいる少女らのかそけく、力強い息遣いの永遠なる事こそ信じる力と美しさ。まことに力強く、美しい映画を見せて戴きました。いま、とても幸福です。映画の歴史のある限り、拍手は鳴りやまぬでしょう。



助監督(15才)



撮影(16才)



録音(16才)



音楽(15才)



振付(16才)



戦後70年を胸に、市街地の空襲で焼け落ちて再生した山口県の梅光学院を舞台に作られた。この空襲を記録した写真を取り入れるとだけ決め、あとは白紙からスタート。中高生40名とワークショップを1ヶ月間重ね、こぼれ落ちたものから適性を見定める日々が送られた。そこから物語が生まれ、歌が生まれ、キャストとスタッフが振り分けられていく。また偶然にも70年前のその写真を撮った写真家のひ孫が参加しており彼女が撮影を担当することになる。独りのサラリーマンと、出演・撮影・録音・照明・作曲・演奏・振付・歌唱・他を中高生40名が手がけて創作したミュージカル映画がここに誕生した。

2025年6月29日(日) 下関市勤労福祉会館 2階第1会議室

①10:30 / ②14:00 開場はいずれも上映時間30分前となります

(1回目の上映後→隣人のゆくえ出演者登壇予定、2回目の上映後→ハイニコボン出演者登壇予定)

上映77分 / 前売1,000円 / 当日1,200円 ※お車でおみえになる方は、近隣のコインパーキングをご利用いただくよう、お願い致します。

取 扱: 縁起焼、HONKY・TONK、BARBER AKAHORI

主 催: 灯台守・柴口組 問合せ: 灯台守・柴口組 (080-3052-3103/ 藤中)



灯台守・柴口組

Facebook



Instagram

